

『計量経済学の第一歩』

田中 隆一（著）

ウェブ補充問題

発行所 株式会社有斐閣
2015年12月20日 初版第1刷発行

ISBN 978-4-641-15028-7
©2015, Ryuichi Tanaka, Printed in Japan

第4章の補充問題

4-4 (ウェブ補充問題) 以下に挙げる事柄を検定したいとします。帰無仮説と対立仮説はどのように立てればよいでしょうか。

- (1) 消費税を上げると、家計消費が下がる
- (2) 新しく開発された風邪薬には効果がある。
- (3) 高速道路を新しく建設すると、一般道の交通量が減る。
- (4) 学校の統廃合は児童の学力に影響を与える
- (5) 小学校の教員研修は教員のスキルアップにとって効果的である。

4-5 (ウェブ補充問題) 帰無仮説が「母平均は0」の時の t 検定について考えましょう。

- (1) 自由度 10 の t 分布を使って両側検定を行う時、 t 検定統計量の推定値がどの範囲に入れば帰無仮説を有意水準 5% で棄却できるでしょうか。
- (2) 自由度 50 の t 分布を使って片側検定を行う時、 t 検定統計量の推定値がどの範囲に入れば帰無仮説を有意水準 1% で棄却できるでしょうか。なお、対立仮説は「母平均は正」とします。